

**NAPAを用いたアプリケーション開発(その3)**  
**(研究開発関連)**

**成果報告書**

**2013年4月26日**

**(一社)日本造船工業会**

# NAPAを用いたアプリケーション開発 成果報告書

1. 開発目的
2. 開発体制
3. 開発項目
4. 会合実施状況
5. 会合での主要決定事項
6. 項目別開発実施期間報告
7. 開発の成果
8. 最終報告

# 1. 開発目的

**ClassNK及び日本造船工業会のメンバーである造船所が  
共同でNapa社(フィンランド)製の設計用船舶性能計算ソフト  
ウェアであるNAPAシステムをカスタマイズし、各社の造船  
設計者が性能計算等の基本設計業務改善及び円滑化推進  
のために開発を切望している機能を付加する。**

## 2. 開発体制

### ① 研究参加者(2機関、11社)

- (一財)日本海事協会
- (一社)日本造船工業会
- 今治造船(株)
- 尾道造船(株)
- 川崎重工業(株)
- サノヤス造船(株)
- ジャパンマリンユナイテッド(株)
- (株)新来島どっく
- 住友重機械マリンエンジニアリング(株)
- 常石造船(株)
- 内海造船(株)
- (株)名村造船所
- 三井造船(株)

### ② プログラム開発委託業者

**Napa Group (Napa Ltd, Napa Japan, Napa India)**

開発委託契約はNapa Japanと締結済(8月)

# 3. 開発項目

以下の機能を含んだアプリケーションの開発を実施

## Shipyard Matters

1. Compartment Definition Check
2. Balancing Tool
3. Summary Table
4. Improvement of Existing Shipyard Applications

## Class Matters

1. Protection of Fuel Oil Tanks (MARPOL 12A)
2. Strength Summary List
3. Improvement of Allowable Mass Chart
4. Improvement of Existing ClassNK Manager

## 4. 会合実施状況

1. 第1回会合(神戸) : 2012年4月11, 12日
2. 第1回テストセッション(神戸) : 2012年11月7, 8日
3. 第2回会合【中間報告】(神戸) : 2012年11月9日
4. 第2回テストセッション(神戸) : 2013年4月23~25日
5. 第3回会合【最終報告】(神戸) : 2013年4月24日



第1回全体会議



第2回全体会議

上記以外はE-mailにて随時協議実施

# 5. 会合での主要決定事項 (1)

## ①プロジェクトリーダー及びサブリーダー

開発作業を円滑にするため以下のリーダーを設置

- プロジェクトリーダー: 桑原氏 (川崎重工業)
- サブリーダー: 平山氏 (新来島どっく)
- サブリーダー: 島田氏 (今治造船)
- サブリーダー: 大前氏 (川崎重工業)
- 船級関連リーダー: 高本氏 (日本海事協会)

## ②開発項目の抽出

- 各参加者から得られた要望項目より本年度は3.で述べた船級関連を含む8項目を開発。

## 5. 会合での主要決定事項 (2)

### ③開発プログラムの配布先

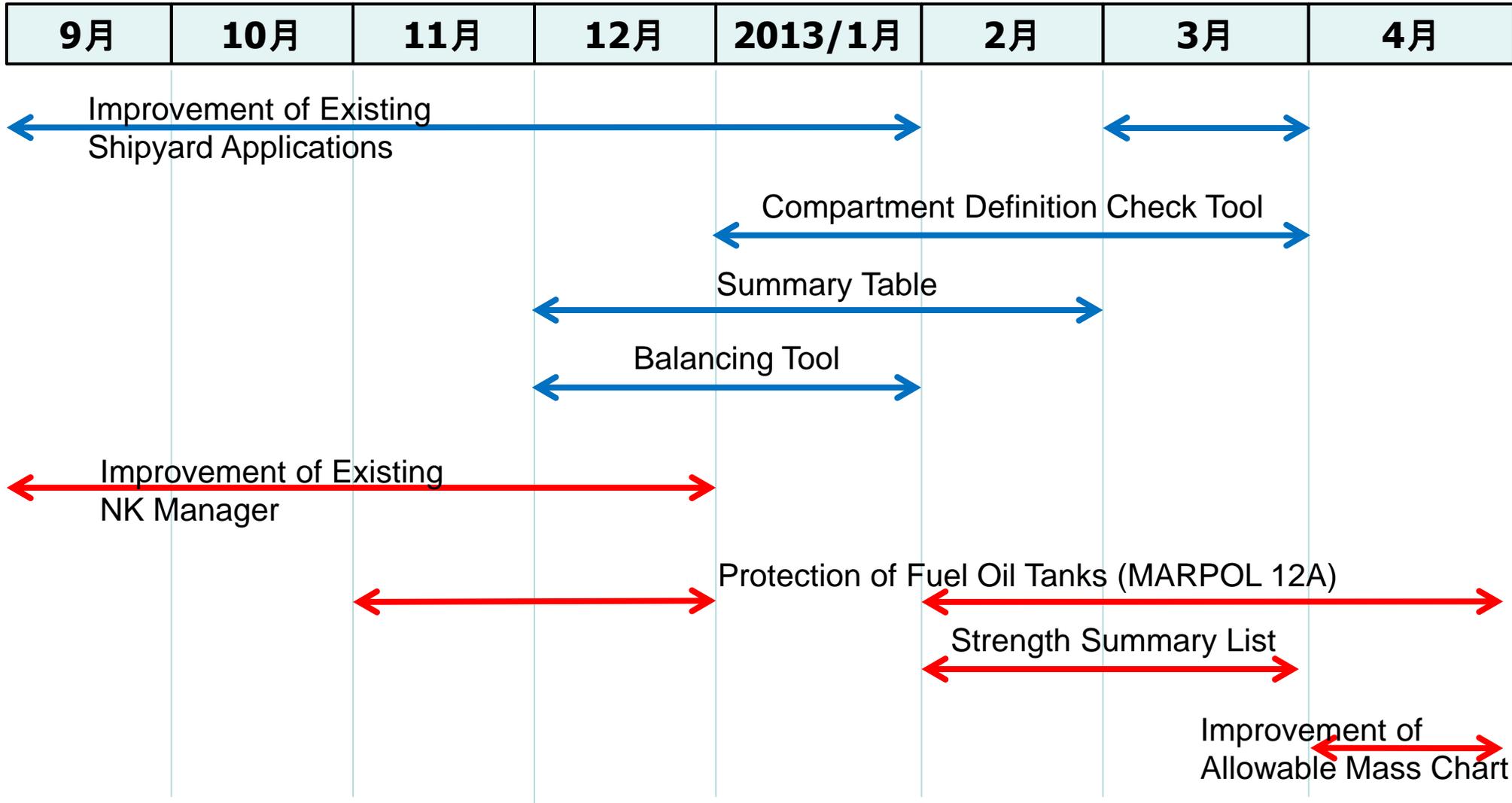
- 2013年度におけるNAPA正式リリース後、2年間は、本研究参加者のみとする。但し、船級関連については、ClassNK Managerのすべてのユーザーに配布。
- 2年後以降は、ClassNK Managerのすべてのユーザーに配布する。
- ライセンス管理はClassNKが行う。

### ④開発プログラムのソースコード配布

- 本研究参加者で希望者にはソースコードが配布される。但し、配布されたソースコードを利用もしくは改変の使用は、各社内での使用に限る。

# 6. 現在の開発進捗状況

↔ Shipyard Matter  
↔ Class Matter



# 7. 開発の成果

1. 本開発により、実務作業を効率良く実施可能とするアプリケーションツールが作成された。
2. 実務者の視点での開発であったため、より使い易いツールとなり、NAPAに精通していない実務者でも使用可能となった。
3. 各社個別で行う必要があったカスタマイズが不要となり、実務者の負担が格段に軽減された。
4. 日本の造船各社の基本計画担当者の情報交換が活発となった。

## 8. 最終報告

1. NAPAより、アプリケーション(添付DVD参照)を受領。  
(2013年4月17日)
2. 本アプリケーション検証作業終了。(2013年4月25日)
3. 本研究開発は2013年4月を以って終了する。

以上